

県民公園づくり空間の取り組み概要	WS開催日	ワークショップの内容
<p>1 期目 (2007 年度) 愛知県建設部公園緑地課と愛知県尾張建設事務所東部丘陵工事事務所記念公園整備課とが事務局となりワークショップの開催を呼びかけ、応募のあった 37 名の応募者全員をメンバーとして初年度のワークショップを開催しました。</p>  <p>『県民参加の基本方針』と県民公園づくり空間の基本プラン(素案)がまとまる</p>	<p>2007 年 9 月 10 月 11 月 12 月 2008 年 1 月</p>	<p>初回のワークショップを開催。計画予定地を見学し、公園内のフィールドセンターで計画地のアイデアを話し合い「ユニークさ」「楽しさ」「万博の感動」「自然を壊さない」といったキーワードが集まりました。</p> <p>138 タワーパーク(愛知県一宮市)、各務野自然遺産の森(岐阜県各務原市)の2つの公園を見学し実際の公園施設と運営のあり方を学びました。</p> <p>「キーワード(理念)」「やりたいこと(運営)」「施設やひろば(整備)」の3つにポイントを絞って目指したい計画地の方向性を話し合いました。</p> <p>前回に引き続き、目指したい計画地の方向性を話し合い「県民参加の基本方針」が定まりました。</p> <p>公園プランづくりに取り組み、プログラム展開を含めたプラン素案が出来上がりました。また管理運営面での課題が浮かび上がってきました。</p>
<p>2 期目 (2008 年度) 初年度の成果を引き継ぎ、県民公園づくり空間の具体化を目指して、引き続き 2 年目のワークショップ(築こう編)を開催しました。</p>  <p>県民公園づくり空間の『整備方針』『運営方針』を定め、『空間設計プラン』『活動プログラム案』をとりまとめた 活動団体『モリコロパーク里山開拓団』の名称が決定</p>	<p>8 月 9 月 10 月 11 月 12 月 2009 年 1 月 2 月 3 月 6 月</p>	<p>今年度のワークショップの進め方(スケジュールと到達目標)が固まりました</p> <p>この地で展開したいアイデアを「アイデアノート」に書き出しカード化する作業を2回にわたって行いました。これにより活動プログラム集が出来上がりました。</p> <p>メンバーの意見を反映して作成された「農の営みを優先的に配置したプラン」(A案)、「先人の知恵を優先的に配置したプラン」(B案)、の2案のたたき台プランについて意見交換を行いました。両案への指摘点を踏まえて1案に絞り込むこととなりました。</p> <p>「ワークショップの意見を反映した修正プラン」(C案)について意見交換を行いました。C案をベースにプランを深めていくこととなりました。</p> <p>この空間での日常の活動を思い描き、運営上の課題を洗い出すために「とある一日の絵日記」を作成しました。絵日記を相互に確認することで、多様な視点や新しいアイデアが確認できました。</p> <p>運営に必要なスタッフ体制を確認しました。「プログラム場面ごとの運営イメージ」を確認することで必要な人材、組織構成、プログラムの流れ、を把握することができました。</p> <p>事務局にて図化された「計画平面図」について意見交換を行いました。メンバーの思いが形に表れ「本当にできるんだ」との実感が皆の心に湧いてきました。また「場所」と「会」の愛称も話し合いました。</p> <p>活動団体の名称は全会一致で「モリコロパーク里山開拓団」(仮称)に決まりました。(場所の名前は当面は正式名称である「県民公園づくり空間」を使用し、場所の形が現れた段階で決めることとなりました)</p>
<p>3 期目 (2009 年度) ワークショップと平行して進められていた県民公園づくり空間実施設計(建築施設等を除く)がまとまり、活動に向けた準備を開始する年です。ワークショップは「全体会」に名称が変わり、事前の事務局打合せにはメンバー有志も加わるようになりました。</p>  <p>「モリコロパーク里山開拓団設立準備会」が発足、活動に向け組織体制を明確にすることで「足固め」を行い、お試しラボの実践を通して「学びあい」を行うこととなった。 県民公園づくり空間の愛称を『あいちサトラボ - Aichi Satoyama Laboratory -』と決定した拠点施設の設計を行うためのプランをとりまとめた。</p>	<p>10 月 11 月 12 月 1 月 2 月 3 月</p>	<p>今年度は仮の組織体制・規約(案)を作成し開拓団の設立準備会を発足する方針が確認されました。その上で改めて参加者を募集して、新たな会員を加えて開拓団を正式に発足する方針が確認されました。また、今年度に取り組む拠点施設の実施設計について会の意見を参考にしていく方針が確認されました。アドバイザーの水津先生から「あいちサトラボ」のコンセプト提言をいただきました。</p> <p>「モリコロパーク里山開拓団」設立準備会が発足し、活動場所の愛称が「あいちサトラボ - Aichi Satoyama Laboratory -」と決まりました。またメンバー各自の拠点施設プラン案を発表、施設の魅力が話し合われました。東部丘陵工事事務所の発注による基盤粗造成工事が着工の予定。いよいよ姿が現れてきます。</p> <p>ついに活動場所の粗造成工事が始まりました。メンバーで現地見学し記念撮影を行いました。里山開拓団準備会ではラボを始める方針が決定、拠点施設は事務局からプランA・B案を提示、意見交換を行いました。</p> <p>里山開拓団準備会で行う「お試しラボ」、実際の活動を通して学びます。まずはテーマについて話し合いました。拠点施設はプランA・B案への意見を基にC案を提案、具体的な意見が多く出され、プランの骨格が見えてきました。</p> <p>里山開拓団4期目の目標(自主的な活動・新規参加者受入れ・事務局サポート・指定管理者との連携)を確認し、お試しラボをスタートに向け、取り組みイメージを共有しました。(森のエリア・果樹園エリアの2グループで実践します)拠点施設はD案E案を基に新しいプランを話し合い、実施設計を行うためのプランがまとまりました。</p> <p>活動4期目に向けて、これまでの活動経過を振り返り、合わせて今後の開拓団の組織体制を明確にします。いよいよお試しラボのスタートです。</p>

